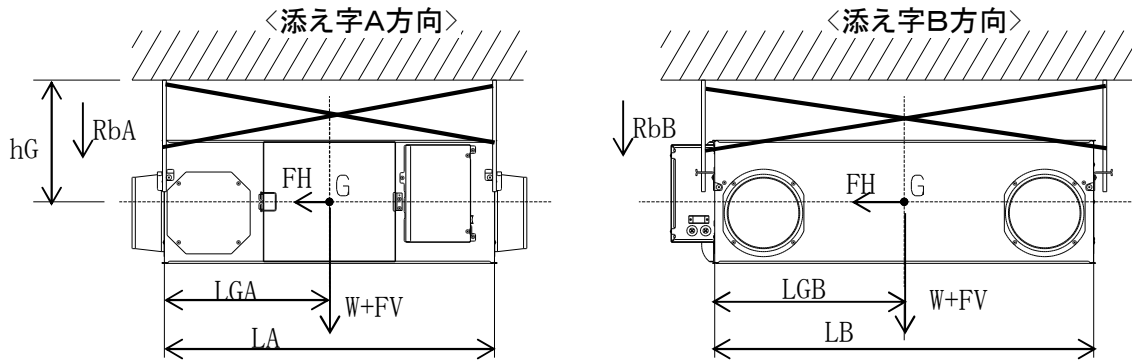


■業務用ロスナイ LGH-N80RS(D),RX(D) 耐震強度検討書



<計算条件>

製品質量	W =	58.0	kg	ボルトから重心	LGA =	566	mm
重心高さ	hG =	500	mm	までの距離	LGB =	526	mm
ボルトスパン	LA =	1131	mm	ボルトサイズ		M10	
	LB =	1051	mm	ボルト総本数	n =	4	本
				片側ボルト本数	nt =	2	本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果				
設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH=KH×W	0.57	0.85	1.14
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	0.28	0.43	0.57
アンカーボルト引抜力		・ボルトスパンA側(RbA) 0.34 kN 0.44 kN 0.54 kN ・ボルトスパンB側(RbB) 0.35 kN 0.45 kN 0.55 kN		
アンカーボルトせん断応力度		* L: LA又はLB, LG: LGAまたはLGB τ = $\frac{FH}{n \cdot A}$ A: ボルト断面積 M10 0.55cm ² 0.26 kN/cm ² 0.39 kN/cm ² 0.52 kN/cm ²		
各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率 (コンクリート厚さ120mm以上)				
あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形) 埋込長さ45mm	短期許容引抜荷重: 3.8 kN	10.9	8.4	6.9
各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率				
ボルト(SS400)	短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²	39.1	26.1	19.5
ステンレスボルト(A2-50)	短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²	35.3	23.5	17.6
以上の計算結果において、上記アンカーボルトM10はいずれも十分な強度を有する				

- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」に遵守した施工をお願いします。

N13HBGT0221A